

2023 年度 九州若手数学賞（受賞理由の確認）3 名（五十音順）

第 12 回九州若手数学賞受賞者と受賞題目・受賞理由

1. 池田香凜 九州大学 マス・フォア・イノベーション連係学府 修士2年

業績の題目： 多重ゼータ値およびフルヴィッツゼータ関数の研究

受賞理由： 池田香凜氏は、多重ゼータ値およびフルヴィッツゼータ関数の研究を行っており、実零点の位置と重複度に関する問題を解決するなど優れた研究成果を論文として発表している。また、日本数学会九州支部例会を含む多くの研究集会において積極的に講演を行っている。この様に同氏は、九州地方における若手研究者として、十分な研究活動を行っている。

2. 野田航平・九州大学 マス・フォア・イノベーション連係学府 博士3年

業績の題目： 非正規ランダム行列のオーバーラップの行列式・パフィアン構造とガウス型解析関数の零点の研究

受賞理由： 野田航平氏は、非正規ランダム行列の固有値および非正規性を測るオーバーラップと呼ばれる量のスケール極限の問題とガウス型解析関数の零点の漸近挙動についての研究において優れた研究成果を論文として発表している。また、国内外の多くの研究集会において積極的に講演を行っている。この様に同氏は、九州地方における若手研究者として、十分な研究活動を行っている。

3. 山縣 真・福岡大学大学院理学研究科・博士課程後期3年

業績の題目： 分類空間上の写像と Invariant 理論

受賞理由： 山縣 真氏は、コンパクト Lie 群の分類空間のトポロジーに関する研究において admissible map、genus 問題そして Invariant 環の構造について優れた研究成果を論文として発表している。また、日本数学会九州支部例会を含む国内外の研究集会において積極的に講演を行っている。この様に同氏は、九州地方における若手研究者として、十分な研究活動を行っている。